

提供日 2026/05/14  
タイトル 「全国治水砂防協会静岡県支部通常総会」の開催  
担当 交通基盤部 河川砂防局砂防課  
連絡先 課長代理 松村  
TEL 054-221-3382



## 「全国治水砂防協会静岡県支部通常総会」の開催

全国治水砂防協会静岡県支部は、県内の市町長等を会員とし、土砂災害防止対策に関する理解を深め、砂防関係事業の普及発展を図ることを目的に、研修や広報、国への要望などの事業を実施しています。

今回、通常総会を開催し、昨年度の事業報告等の承認及び今年度の事業計画等を決議します。また、総会終了後には、国土交通省幹部等が講師となり、近年の土砂災害に対する最新の取組等を御紹介いただく「土砂災害対策講演会」を開催します。

### 記

- 開催日時 令和8年5月21日(木)  
通常総会 午後3時から午後4時  
土砂災害対策講演会 午後4時から午後5時
- 会場 浮月楼 2階「月光の間」  
(静岡市葵区紺屋町11-1 054-252-0131)
- 通常総会  
(1) 総会概要 昨年度の事業報告等の承認、本年度の事業計画等の決議等  
(2) 出席予定 51名  
来賓 8名(塚本副知事、県議会副議長、国土交通省、  
(一社)全国治水砂防協会)  
会員34名(市町長等)、特別会員8名(土木事務所長)  
顧問 1名(交通基盤部長)
- 土砂災害対策講演会  
(1) 講演1 「砂防行政の最近の動向について」  
～「いのち」と「暮らし」と「なりわい」を守る砂防～  
講師 國友 優 氏  
国土交通省水管理・国土保全局砂防部長  
(2) 講演2 「土砂災害と砂防」  
講師 大野 宏之氏  
(一社)全国治水砂防協会理事長
- 全国治水砂防協会静岡県支部の概要  
(1) 設立 昭和15年(前身の「静岡県砂防協会」は昭和10年に設立)  
(2) 支部長 須藤 秀忠(富士宮市長)
- 当日の取材について  
取材を希望される方は、午後2時50分までに浮月楼2階受付までお越しください。

# 令和7年 土砂災害発生状況(全国)

## 土砂災害発生件数

**578件**

土石流等 : 91件  
地すべり : 43件  
がけ崩れ : 444件

## 主な土砂災害※ 発生件数

**125件**

土石流等 : 26件  
地すべり : 2件  
がけ崩れ : 97件

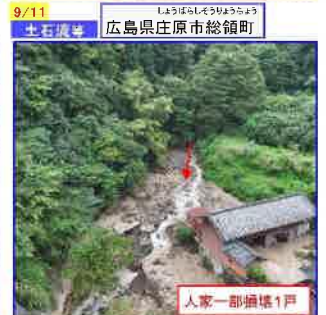
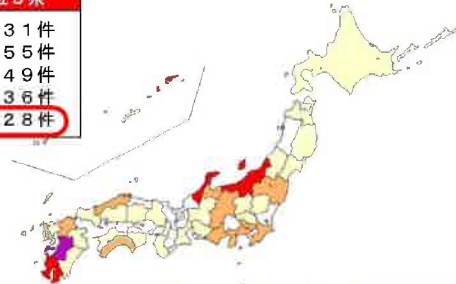
### 【被害状況】

人的被害 : 死者 2名  
負傷者 4名  
家屋被害 : 全壊 15戸  
半壊 32戸  
一部損壊 194戸

※土砂災害のうち、人的被害または家屋被害があったもの

## 発生件数上位5県

熊本県 131件  
鹿児島県 55件  
新潟県 49件  
石川県 36件  
静岡県 28件



国土交通省の資料を使用しています。

# 令和7年 県内の土砂災害発生状況

- 本県は、がけ崩れを中心に毎年約70件の土砂災害が発生している。
- 令和7年は台風第15号等の豪雨により、県内で28件の土砂災害が発生し、住宅の半壊3戸、一部損壊5戸の甚大な被害となった。そのうち7件については、擁壁等の土砂災害防止施設が土砂を食い止める施設効果が確認された。

## ソフト対策の取組

- 土砂災害警戒区域等について、県ホームページや現地標識、電柱広告等により県民へ周知
- 高精度な地形データにより、新たに9,047箇所の土砂災害警戒箇所の候補箇所を抽出し、令和6年3月に公表した。今後、警戒区域の指定に向けた基礎調査を実施し、順次指定していく。
- 土砂災害警戒情報補足システムについて、住民の早期避難に役立つよう、これまでの約5kmメッシュを約1kmメッシュに細分化し、精度の向上を図った。
- 土砂災害防止月間の啓発活動として、路線バスのフロント広告や駅前等の広報キャンペーンを実施した。

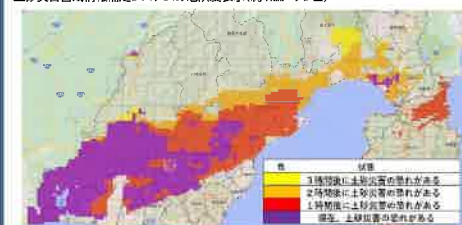
土砂災害警戒区域等の現地表示の状況



路線バスのフロント広告の活用

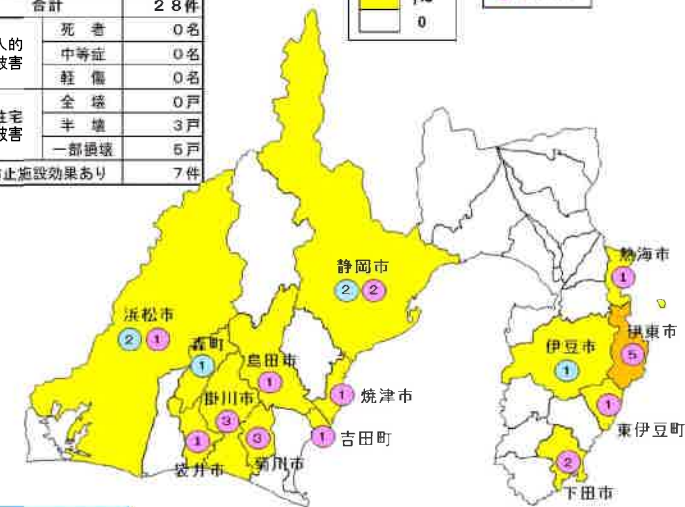
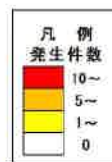


土砂災害警戒情報補足システムの危険度表示(約1kmメッシュ)



## 土砂災害の発生数

令和7年	
種別	件数
土石流等	6件
地すべり	0件
がけ崩れ	22件
合計	28件
人的被害	死者 0名 中等症 0名 軽傷 0名
住宅被害	全壊 0戸 半壊 3戸 一部損壊 5戸
防止施設効果あり	7件



## 土砂災害の被害状況



地元住民が土砂を撤去



土地所有者が土砂を撤去



伊東市が道路災害復旧に対処

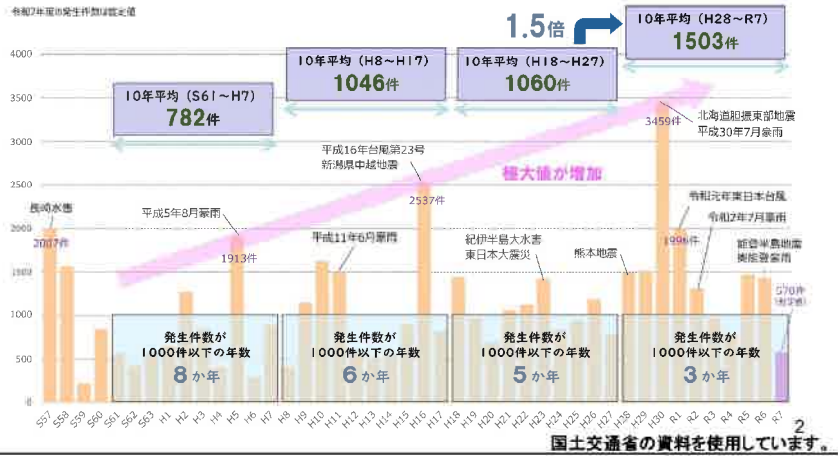
## 施設効果事例



# 土砂災害発生件数の傾向(全国・静岡県)

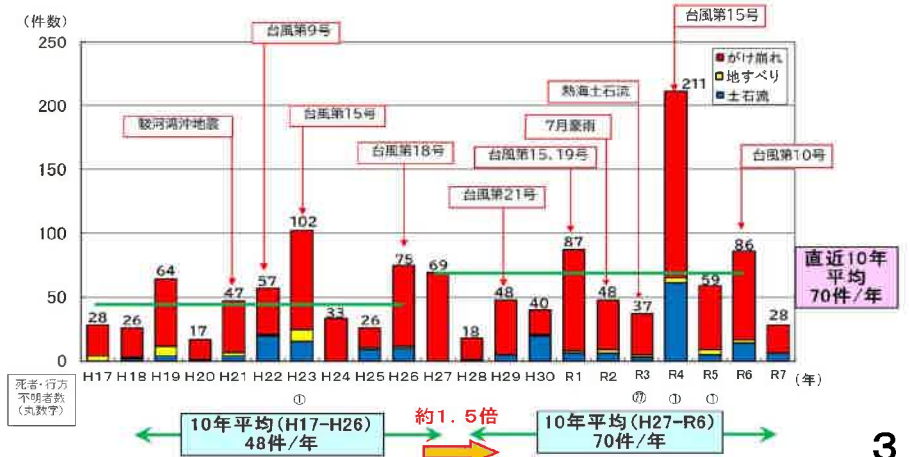
## 全国の土砂災害発生件数 (S57~R7)

- 10年平均単位で増加傾向にあり、近10年はそれ以前の10年に比べ、およそ1.5倍
- 「発生件数の少ない年」が減少傾向  
⇒ 平均発生件数の押し上げに繋がる
- 数年ごとに繰り返される「土砂災害が多く発生する年」の発生件数が増加傾向



## 静岡県の土砂災害発生件数 (H17~R7)

- 10年平均単位で増加傾向にあり、近10年はそれ以前の10年に比べ、およそ1.5倍 (全国と同じ傾向)
- 令和4年は、台風第15号等により全国最多の土砂災害発生件数
- 令和6年は、台風第10号等により全国で2番目に多い土砂災害発生件数



# 土砂災害防止施設の施設効果(令和7年)

## 令和6年の18件に続き、令和7年は7件の施設効果

No	現象	月日	場所	指定地名称	土砂捕捉量	減災効果
1	土石流等	6月13日豪雨	静岡市清水区小島町	曾毛沢	約1,000m <sup>3</sup>	人家121戸、国道ほか
2	土石流等	8月17日豪雨	森町薄場	井戸沢・薄場中沢	約140m <sup>3</sup>	人家1戸、町道ほか
3	がけ崩れ	9月5日 台風第15号	伊東市新井	川西	約20m <sup>3</sup>	人家2戸
4	がけ崩れ		焼津市吉津	吉津中ノ谷	約10m <sup>3</sup>	人家1戸
5	がけ崩れ		下田市西本郷	西本郷一丁目南No.2	約100m <sup>3</sup>	人家2戸
6	がけ崩れ		下田市西本郷	西本郷三丁目C	約40m <sup>3</sup>	人家4戸
7	地すべり		島田市伊太	伊太	-	人家2戸



### 【土石流】曾毛沢(静岡市清水区小島町)

静岡市清水区の「曾毛沢(えげさわ)」では、令和7年6月14日からの大雨により土石流が発生しました。県が整備した砂防堰堤が土砂・流木を捕捉し、人家121戸と国道52号(緊急輸送路)への被害を軽減しました。土石流発生が出水期がはじまった6月であったため、7月には緊急的に除石を行い、次の出水に備えました。



### 【がけ崩れ】西本郷3丁目C(下田市西本郷)

下田市の「西本郷3丁目C」では、令和7年9月5日からの台風第15号によりがけ崩れが発生しました。県が整備した急傾斜地崩壊防止施設(擁壁)により崩壊した土砂を捕捉し、人家4戸への被害を防ぎました。この箇所は、令和6年6月の豪雨でもがけ崩れが発生し、施設効果を発揮しました。その後、擁壁に堆積した崩壊土砂を速やかに取り除き、機能を回復させたため、今回のがけ崩れにおいても同様に人家への被害を防ぐことができました。

